

国語

(解答番号は①～⑮)

次の文章は、橋本努『ロスト欲望社会——消費社会の倫理と文化はどこへ向かうのか』の
一節である。これを読んで、後の問い(問1～8)に答えなさい。解答番号は①～⑮。

エッツィオーニによれば、アメリカのミニマリストたちは、社会のなかで高い地位と所得を
得ることができたけれども、それをあえて断念してシンプルな生活を志向する点に特徴がある
という。その場合、人々は、「自分は本当はもっと稼ぐことができるけれども、私はそれを選
ばない」とか、「私は資本主義社会のなかで失敗したわけではない」というシグナル(メッセー
ジ)を他者に伝達する必要がある。ではそのようなシグナルの発信は、いかにして可能なのか。
それはモノが少ない生活を、社会的に強いられただけではなく、自分で選んだということを表現
するような、「低コストかつ認知しうる消費財」を選ぶことによつてであらう。例えば、シン
ブルな生活に結びついた「セレクト・グッズ」を購入したり、従来のステータス財と同様に認
知しうる財を購入する。あるいは、低所得層の人たちにはしばしば買う余裕がない財を購入す
ることによつて、そのようなシグナルを伝えることができるかもしれない。

表1 エリートの新旧比較

	オールドエリート	ニューエリート
性質	強欲	利他主義
要望	X	インパクト・社会貢献
行動	計画主義	学習主義
人間関係	クローズド(差別)	オープン(Z)
考え方	ルールを守る	新しい原則を作る
消費行動	Y	ミニマリズム

出典：グジバチ [2018：13]。

このように、自分は資本主義の社会で成功することができたけれども、倫理的な理由からあ
えてそうしなかった、というシグナルを送ることは、今日で
は成功した創造階級クリエイティブクラスの人たちの消費・ボタンにもみられる。
創造階級の人たちは、自分の社会的地位を顕示することより
も、自分が創造的であるために必要な生活を重んじる。その
ためには「中身がリッチア」であることを示すような消費が選
好される。例えばビョートル・フェリクス・グジバチは著書
『「ニューエリート」で、新しいエリートが同時にミニマリス
トでもあると捉え、上のような表を作成している(表1参
照)。新しいエリートたちは、もはや誰かに見せびらかすよ
うな消費に関心を示さない。たとえ資本主義の社会で成功し
ても、それを誇示しないシグナルを送ることが、消費生活の
一つの特徴になってきた。
けれども、自分が創造階級イに属しているわけではない場合、
ミニマリズムを実践するインセンティブは、どこにあるだろ
うか。それはまずもって、日々の消費生活に対する不安に根

差しているように思われる。エッツィオーニは、次のように指摘している。世の中にはショッピングが楽しいという人たちがいる。しかし「ショッピングそれ自体から満足を引き出そうとする人々にとつて、このショッピングという活動を切り詰めると、空白になった時間は不安をもたらすであろう。空いた時間は、他のアクティビティに関するテイスト（嗜好）^{（しこう）}を磨くとか、それにコミットメントするという、そういう仕方 で用いられるべきなのであるが、ショッピング好きの人々には不安をもたらす」であろう。

ショッピングは、自分のテイストを磨くための営みであるとはいえ、真のテイストを磨くためには、別の活動も必要である。私たちは、いったいどこまで自らのテイストを磨きたいのかといえ、それは骨の折れる活動であることも知っている。コストが高ければ、私たちは自分のテイストを洗練させようとしないうであろう。ある意味でミニリズムは、こうしたテイストの洗練化を引き受けなくても、価値ある時間を過ごすことができるという、シンプルな生活の提案といえるかもしれない。例えば、他者との絆^{（きずな）}や愛や親密性の形成、友人関係の形成、瞑想^{（めい）}の実践、自然とのコミュニケーション等は、テイストを磨くというよりも、コミュニケーション力や受容力を磨くものである。ヴェブレン^{（*）}はテイストを磨く有閑階級の生活を理想としたが、これに対してミニリズムの理想は、テイストではなくコミュニケーションや各種の受容力を磨く^{（*）}ダウンシフターの生活にあると言えるかもしれない。

エッツィオーニによれば、ミニリズムがもたらす社会的帰結は、環境にやさしい町づくりであり、例えば古い建物の再開発や再利用、田舎への移住、希少な財をあまり使わない生活スタイル等であるという。こうした試みは、資本主義に抗する対抗文化であり、^{（*）}コミュニケーションによる「善き生」の実践と重なるであろう。ミニリズムはヨカ時間^{（A）}を拡大することで、豊かさを享受するための社交的条件を生み出す。

むしろミニリストたちは、実際には豊かな社交を望んでいないかもしれない。むしろ田舎での隠居生活や、環境市民の自律した生活、あるいは清貧を志す保守主義の生活を求めているかもしれない。こうしたスタイルは、コミュニケーションリズムとは異質の生活理想であるだろう。ミニリズムの実践は、日本ではむしろコミュニティから離脱する生き方と結びついている。そこで最後に、コミュニティリズムには回収されないミニリズムの思想について、検討してみたい。

エッツィオーニは、能力がある人たち（エリート）^{（*）}のオルタナティブな自己実現運動としてミニリズムを捉え、そのなかのコミュニティリズム的な実践に注目した。けれども日本のミニリズムは、人間関係からの離脱を志向している。たしかに売れているミニリズムの本のなかには、片づけを通じてもっと活動的な生活を送るように啓発するものもある。しかし日

表2 禁欲と遊びに照らしたミニマリストの位置

	禁欲	遊び（ルドゥス）	瞑想・無為ほか
現世内職業	プロテスタンティズム	創造階級	？
現世内脱職業	？	脱サラ趣味人	ミニマリスト・禅
現世離脱	修道院	登山家、釣り人	老子・禅

出典：筆者作成。

本のコアなミニマリストたちの多くは、資本主義社会が^Bジョウセイする消費欲に踊らされず、世俗の人間関係から一歩降りたところに生活の理想を求めている。そこには脱資本主義への関心があるだろう。

これまで資本主義を批判する視点は、社会主義や共産主義の思想によって与えられてきた。資本主義を超える運動は、各種の共同体や共同性の関係を育むことにあるとみなされてきた。アナキズムにおいても、国家に干渉されない自治の理念が強調されてきた。ところがミニマリズムには、この世俗社会のただなかで、世俗的な生き方を避け、他者との交流を控えつつ、自然の価値を理解する等、いわば「禅」に通じるような方向性がある。むしろミニマリストたちの多くは、宗教的な救済への関心を抱いているわけではない。けれども従来の経済倫理（資本主義のもとの禁欲倫理）との対比で検討すれば、^ウ表2のような類型のなかにミニマリズムを位置づけることができる。

世俗の資本主義社会において倫理的に生きる道は、これまで^{*}ウェーバーのいう「資本主義の精神」のように、職業を通じた禁欲生活にあるとみなされてきた。これに対して近年のIT産業の^Cボッコウは、創造階級の生活スタイルをもたらし、遊びの要素を含む創造的な活動にこそ利潤の源泉があるとみなすようになった。これらに対して^エミニマリズムは、禁欲や創造によって資本主義を駆動することには、あまり関心を寄せていない。

むしろ例えば、ヒマな時間をまったり過ごしたり、あくせく働かずにネットでさまざまなコンテンツを享受したり、あるいは自然環境に身を置いたり、冷蔵庫を捨てて前近代的な生活に回帰する等、ゆったりした時間を過ごすことに関心を抱いている。こうした関心は広い意味での観照的な生活といえる。日本ではこれまで、「禅」の文化がこのようなスタイルに近い考え方を提供してきた。

別の観点からコアなミニマリストたちを捉えてみると、そこには人間の煩惱から離脱する傾向を認めることができる（表3を参照）。

私たちの心身を悩ませる煩惱の数は無数にあるといわれるが、資本主義とはある意味で、人間の煩惱（欲望）を動員しつつ、富の全般的な形成を企てるシステムである。煩惱は、それがもし文化的な洗練と結びつかない場合、たんなる階級上昇志向の虚栄か、たんなる階級維持志向の物質的満足の追求か、あるいは階級を下降させてでも満たしたい低次の欲求充足になるだろう。ヴェブレンのいう「顕示的消費」は、それがたんなる階級上昇志向の虚栄に結びつく場合には、批判の対象となる。しかし煩惱を洗練させて、有閑階級の文化的な技芸を身につける

表3 脱煩惱を志向するミニマリズムの位置

	煩惱	煩惱洗練型	市民精神	脱煩惱
上昇志向	虚栄 顯示的消費 至福の時間	〈文化〉の理想 自己投資	市民的自律 生活協同組合運動	觀照的生活 卓越主義
現状維持／ 中立	物質的満足	有閑階級の生活 スローフード	リベラリズム	二次的ミニマリズム
ダウンシフト 志向	低次の欲望への 耽溺	働時間削減による 文化的自我の洗練	環境市民	コア・ミニマリズム

出典：筆者作成。

場合の消費生活は、一つの文化的な理想とみなされる。煩惱は、それを取り除くことよりも、それを洗練させることが文化的な目標となる。文化的な洗練は、自らの階級的地位を上昇させることもあれば、すでに高い地位を享受する場合や、地位を下げてまで探求されることもあるだろう。いずれにせよ、顯示的な消費は、それがもし文化的な洗練に向かう場合には、必ずしも批判されることはない。

煩惱はしかし、文化的な洗練とは別に、市民精神を通じてその克服が目指されることもある。実際、「顯示的消費」に対する批判の言説は、自律した市民の精神を理想とする立場からなされてきた。自律した市民とは、市場に依存しない自律的な経済基盤を持ちつつ、その基盤から市場や資本主義の誘惑をしりぞけて、自らの経済生活を理性的にコントロールする主体である。例えば生活協同組合の運動は、煩惱を満たすような消費行動を克服して、自律した協同経済の営みを理想とする。これは自律による煩惱の克服である。また、どんな個人であれ、現実社会のなかでは尊厳をもつて尊重されるべきだという自由主義リベラリズムの考え方がある。この考え方に従えば、顯示的消費にホンロウDされる人も生活協同組合運動に携わる人も、いずれも尊厳をも

つて尊重されるべきであり、問題は消費依存症（低次欲望への耽溺たんでき）によって尊厳の基盤を奪われることであるとされる。この他、環境問題に関心のある市民は、自らの生活をダウンシフトさせて、環境に配慮する生活を企てるであろう。環境市民は、地球キボの環境Eと社会、あるいは次世代の人々の生活基盤への平等な配慮といった観点から、最も適切な生活を模索するであろう。以上の考え方はいずれも、煩惱を律しようとする点で、啓蒙けいもうされた市民の生き方といえるだろう。

煩惱を満たす、煩惱を洗練させる、煩惱を律する、という以上の類型と比較するならば、ミニマリズムの立場は、煩惱を脱却する方向に向むかっている。その脱却が高い精神性を目指す場合には、ミニマリズムは卓越を目指す修行となるだろう。ミニマリストたちはしかし、必ずしも高い精神性を求めているわけではない。むしろその精神性を高める実践の入り口付近で、世俗社会を肯定しつつも、煩惱から自由であるようなスタイルを模索しているようにみえる。コアなミニマリストたちは、極端にモノを捨ててお金を節約することで、すでに修業へと踏み出しているかもしれない。多くのミニマリストたちも、そのようなコアなミニマリストたちを見做

って、小さな修行を試みているといえるかもしれない。

（本文中に一部省略・改変したところがある）

（注）

*エッツィオーニ——（一九二九年～二〇三三年）アメリカ合衆国の社会学者。

*ビョートル・フェリクス・グジバチ——（一九七五年～）ポーランド出身の起業家、投資家、経

営コンサルタント。

*インセンティブ——行動を引き起こす刺激、動機。

*ヴェブレ——（一八五七年～一九二九年）アメリカ合衆国の経済学者・社会学者。

*ダウンシフターズ——自動車の運転でギアをシフトダウンして減速するように、意識的に仕事や

暮らしの歩調をゆっくりめにして、収入や消費を抑えた生活を実践する人々。

*コミュニティアニズム——二〇世紀後半のアメリカ合衆国を中心に発展した政治思想で、共同体

（コミュニティ）の価値を重視する。「共同体主義」とも言う。

*オルタナティブ——ここでは「代わりとなる、取って代わるような」といった意味。

*ウェーバー——（一八六四年～一九二〇年）ドイツの社会学者、政治学者、経済学者。

問1 二重傍線部A～Eに相当する漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ

一つ選びなさい。解答番号は①②③④⑤。

A ヨカ①

- ① 将来にカコンを残さない。
- ② あまりにカダイな評価を受ける。
- ③ 難題にカカンに挑む。
- ④ スンカを惜しんで励む。
- ⑤ 夜勤に備えてカミンをとる。

B ジョウセイ②

- ① ジョウチヨウで読みづらい文章。
- ② ケンジョウゴを適切に用いる。
- ③ 問題点をカジョウ書きにしてい
- ④ ジョウジョウシヤクリヨウの余地がある。
- ⑤ 酒をジョウゾウする過程を見学する。

C ボッコウ③

- ① 国家のコウボウの歴史を学ぶ。
- ② チームの勝利にコウケンする。
- ③ 学校のコウバイ部でパンを買う。
- ④ コウリツの悪い仕事の進め方。
- ⑤ 力のキンコウがやぶれる。

D ホンロウ④

- ① メイロウで快活な人柄。
- ② 失礼な言葉でグロウする。
- ③ 砂上のロウカクのようなものだ。
- ④ ロウレンな戦術を用いる。
- ⑤ イチゾクロウトウが路頭に迷う。

E キボ⑤

- ① 寸法がキカクガイの野菜。
- ② キギヨウから内定を得る。
- ③ 役員のニンキを全うする。
- ④ 旅のキコウブンを読み進める。
- ⑤ アルコールがキハツする。

問2 傍線部ア『中身がリッチ』であること」とあるが、ここではどういうことを表しているか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から選びなさい。解答番号は

⑥。

① 社会的に高いとされる地位に他の者に伝達するための、実質的な、低所得者には買うことのできないものを購入できる経済力があること。

② 他者にどのように認識されるかについて常にシグナルを送り、自分の嗜好する創造的な生活を可能にするための十分な金銭的なゆとりがあること。

③ 経済的な余裕があることに加えて、社会的地位も確立されたことを示すため、文化的な教養等、磨き抜かれた自分のテイストを持っていること。

④ 資本主義的な価値観に基づく成功はできなくても、自分の選び抜いた最小限の物に囲まれた生活を営むことに、精神的な充実と喜びを感じることに。

⑤ 十分な地位や経済力があってもそれをひけらかすような消費を選ばず、趣味や社交を重視する生き方等の精神的な豊かさを重要視していること。

問3 表1について各問いに答えなさい。

(1) 表中の空欄X・Yに入る表現の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から選びなさい。解答番号は⑦。

① X	シグナル	Y	倫理的消費
② X	ステータス	Y	誇示的消費
③ X	シンプル	Y	顕示的消費
④ X	オリジナリティ	Y	創造的消費
⑤ X	テイスト	Y	文化的消費

(2) 表中の空欄Zに入る表現として最も適当なものを、次の①～⑤の中から選びなさい。解答番号は⑧。

- ① コミュニティ作り
- ② 清貧を志す保守的生活
- ③ 田舎での隠居生活
- ④ 地域社会からの離脱
- ⑤ 世俗的交流を控える

問4 傍線部イ「自分が創造階級に属しているわけではない場合、ミニマリズムを実践するインセンティブは、どこにあるだろうか。」とあるが、これに対する筆者の答えとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から選びなさい。解答番号は 9。

① 欲しいものを購入する経済的余裕がないことで生じる不安はストレスをもたらすが、ミニマリストであると周囲に伝達することによって、買えないわけではないと思わせられる点。

② 自身のテイストを磨くためには多大なコストがかかるが、そうした経済的負担を負わずとも、無駄な物を置かないシンプルな暮らしを選ぶことで、洗練された空間を実現できる点。

③ 経済的労力的に負担の大きい、テイストを磨くという努力等をしなくても、物よりも人とのつながりや時間的なゆとりに価値を置くことで、満足して日々を暮らすことができる点。

④ ショッピング等の消費活動に価値を置くと、それを制限することは不安につながるが、自然のなかでの瞑想等が精神的充足をもたらし、無益な消費が抑制されて不安が解消される点。

⑤ 創造階級への憧憬から生活の模倣をしたのであっても、結果的に経済的な負担を軽減することにつながり、人との社交や精神的活動等、内面を豊かにすることに余力を割ける点。

問5 傍線部ウ「表2のような種類のなかにミニマリズムを位置づけることができる」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から選びなさい。解答番号は 10。

① 信仰の対象を有しておらず、修道生活のような禁欲的隠遁生活いんとんをするわけではないが、瞑想等を通して精神の救済を求める点で、宗教と相通じるものがあると見なすこと。

② 禁欲的修行により救済を得ようとする修道院生活や、趣味人が遊びのなかに精神的な安らぎやゆとりを見出す行為みいだと、根底にあるものは大きく共通していると考えること。

③ プロテスタンティズムの禁欲生活と、IT産業など創造階級の生活との中間的な位置にあり、現世的価値と精神の充足との両面を追い求める点に特徴があると捉えること。

④ 老子や禅ほどに現世離脱的ではないが、現世的価値に執着しないで、内面的な充実や自然のままを求めることに豊かさを見出すという性質が顕著であると理解すること。

⑤ 現世的成功を志向せず、遊びとも無縁で職業とは結びつきにくいという点で現世離脱的な性質を有しており、プロテスタンティズムや禅などに性質が近いと認識すること。

問6 傍線部エ「ミニマリズムは、禁欲や創造によって資本主義を駆動することには、あまり

関心を寄せていない。」とあるが、これに関する次の(1)～(3)の例に当てはまるものとして

最も適当なものを、後の①～⑦の中からそれぞれ選びなさい。解答番号は 11 。

13。

(1) 禁欲によって資本主義を駆動する例

11

(2) 創造によって資本主義を駆動する例

12

(3) 資本主義におけるミニマリズムの例

13

① ゲーム好きが高じて全く新しいゲームを開発し、それが世界的なヒットを記録した。

② 新しい遺跡が発見されたことで観光客が詰めかけ、旅館や小売店は大繁盛している。

③ 仕事上の業績がなかなか伸びずに周囲の評価は低いが、日々努力を積み重ねている。

④ 忙しくない仕事に転職したことで、趣味の陶芸を心ゆくまで楽しめるようになった。

⑤ 毎日遅くまで厳しい稽古を続けた結果、舞台上に観客が詰めかけチケットは完売した。

⑥ 採算を度外視して商売をしているため、儲けはさほどないが、注文が殺到している。

⑦ 工場でパートタイムで働いているが、シフトをあまり入れてもらえずに収入が低い。

問7 傍線部オ「煩惱はしかし、文化的な洗練とは別に、市民精神を通じてその克服が目指さ

れることもある。」とあるが、筆者がこのように言うのは「市民精神」がどのようなもので

あるからか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から選びなさい。解答

番号は 14。

① 誘惑的消費に流されることを好ましく思わず、他者を尊び環境に配慮する姿勢から、

自身だけではなく共同体全体を律していこうとするもの。

② 顕示的消費を良しとせず、低次の欲望に耽溺しない、環境にも配慮した自律した経済

生活を理想として物質的満足を得るのを根本とするもの。

③ 煩惱を制御して自律した経済活動を行うことを理想とし、消費に依存することは自ら

の尊厳のよりどころを奪われることであると考えるもの。

④ 煩惱に流され過度に消費に走る人がいて生活協同組合が営めない等の問題が起こらな

いように、意志の力で欲望を律していこうとするもの。

⑤ どのような個人でも尊重することが根底にあるので、欲望を満たす消費活動と自律の

ある経済基盤とを、誘惑をしりぞけつつ両立させるもの。

問8 本文を読んだ生徒五人が感想を話し合っている。本文の内容や趣旨に照らして適当でな

いものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 15。

① 生徒A——「ミニマリズム」という言葉は、最小限を意味する「ミニマム」から来ているんだろうね。文章にあったように、物の消費をできるだけ控えたり古いものを再利用したりすることで、自分のために時間を使ったり節約しながら自分が心地よい生活ができたりするのは魅力的だと思ったよ。

② 生徒B——私は友達に自慢がしたくて、高価な最新のスマートフォンを買ってしまったことがあるよ。こういうのが、虚栄に結びつく「顕示的消費」に当たるのかなあ。ミニマリズムは、そういう他人の目を意識することとか、消費をかきたてる誘惑とかを捨て去っていくという立場なんだね。

③ 生徒C——ミニマリズムを実践しているのは、ほかならぬ創造階級の人たちで、彼らは創造的な生活をするためには人づきあいさえもしないんだね。モノを持たない極端な生活をし、そのうえお金も節約するって文章に書いてあったけど、それが日本の「禅」に通じるだなんておもしろいと思ったよ。

④ 生徒D——日本のコアなミニマリストは、コミュニティから離れ、世俗の人間関係を離脱したところに生活の理想を求めると、文章に書いてあるよね。私も自分一人の時間を大切にしたいから、見栄^{みえ}のために高いものを買おうとあくせく仕事を頑張るよりも、好きな読書をして過ごすような生活がしたい。

⑤ 生徒E——ミニマリストは煩惱を脱却しようとするので、それが修行のようになっていくのかもしれない。彼らは、世俗から完全に離れるのではなく、煩惱に縛られない生活スタイルを楽しむ選択をしているんだね。大部分のミニマリストは、コアな人を見倣いながら内面を高める修行をしていると言えるね。